

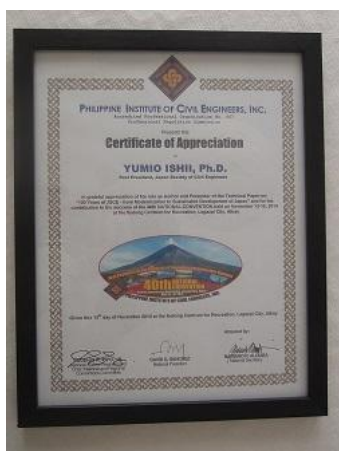
2014年 フィリピン土木学会(PICE)年次大会参加報告

1. フィリピン土木学会

フィリピン土木学会 PICE は 1974 年設立と歴史は短いですが、現在の会員は 7 万 2 千名に達し会員の社会的地位も高いです。今年の第 40 回全国大会は「インフラ革新の先頭に立つ土木技術者」をテーマに 11 月 13 日から 3 日間、ルソン島南部の名峰 Mayon Volcano 山麓のレガスピ市で開かれ、筆者は特別講演者として招かれて参加したものです。

2. 開会式と役員改選

開会式では国内外 110 の支部長が支部旗と共に入場しました。国旗、PICE 旗入場、国歌斉唱、PICE 歌斉唱に続いて、地元首長らがインフラの重要性と PICE への期待を強調する挨拶を述べました。筆者は土木学会代表として紹介されました。役員改選では Eugenio Pipo 公共事業道路省次官補が会長に選出されましたが、特筆すべきは女性会員の多いことで参加者 2,000 名の約 3 割が女性でした。



講演者への感謝状には Mayon Volcano の絵が



大会会場の様子

3. 講演と技術分科会

筆者は「土木学会 100 年の歴史：日本の近代化から持続可能な発展まで」のタイトルで約 40 分、日本とフィリピンの友好の歴史、日本の土木技術と土木学会の歴史、土木学会の貢献、21 世紀への展望について講演を行ないました。また 100 周年式典への参加も訴えました。

筆者に続いて、Castoro PICE 副会長「土木の最新技術」、Abratique 社社長「最新の交通信号システム」、Cruz フィリピン大准教授「高潮と波浪」の講演が行われました。また、技術分科会では、PM、水、交通、地盤、環境について活発な議論が行われました。

4. 交流会 Fellowship Night

歌と踊り、それもプロばかりではなく、レガスピ支部役員によるプロはだしの歌もあって、食事をしながら全員で楽しみました。

【記 土木学会元会長 石井弓夫】